

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

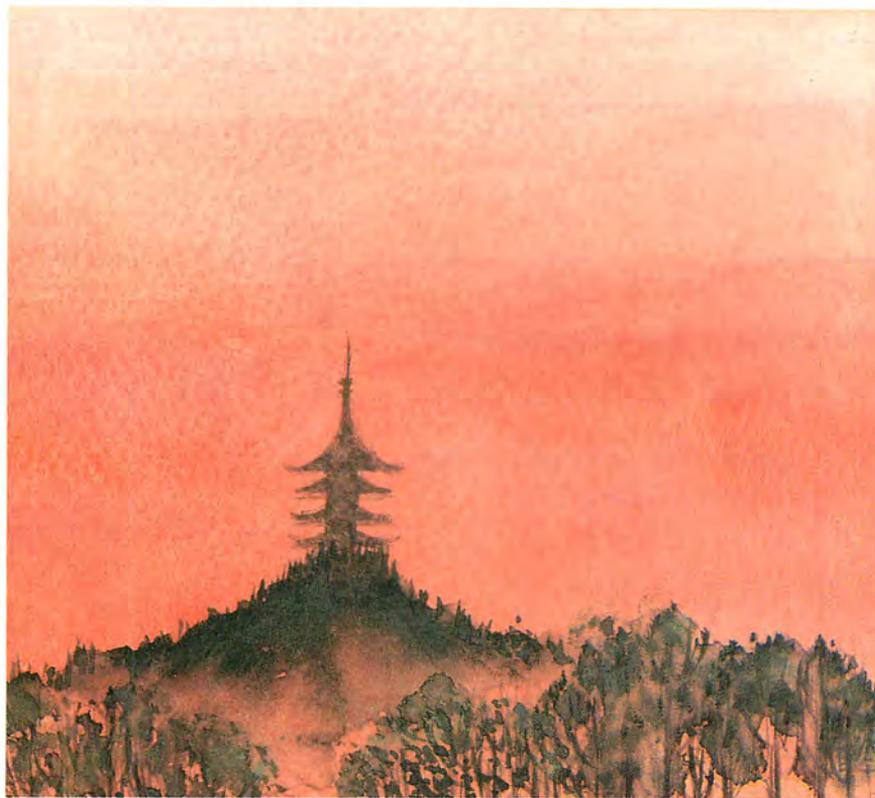
Stage

月刊ステージ・アップ

up

'93
12月号【1日発行】

市民企画「第2弾」の受講生募集
映像を通して老いの自立を考える



夕焼けに燃える香林寺(麻生区細山)



いまを話す

国語教師でシャンソン歌手の花輪兵庫さん
日本語の美しい響きを大切に

Stage Up 12 月号もくじ / 1993年

◆市民企画 “第2弾” の受講生募集◆

映像を通して老いの自立を考える ————— 3

■ほんねインタビュー いまを話す■

国語教師でシャンソン歌手の花輪兵庫さん

日本語の美しい響きを大切に作る歌を

新春号から「いまを話す」のインタビューに

「語り」の伊藤真弓さんが連続登場

●はりきってます グループ紹介●

手づくりを彫る 木彫同好会「楓」 ————— 8

●心このなる私の一冊●

「宮本武蔵」 麻生区上麻生、戸松三千代さん

「龍の子太郎」 麻生区片平、菅原節生さん ————— 9

◆学習・文化情報／会員募集◆

◆小誌郵送費が大幅増で財政ピンチ◆ ————— 14

◆ミニニュース／編集雑記◆ ————— 15

●表紙絵……夕焼けに燃える香林寺(麻生区細山)

清水幹子さん

(小誌は再生紙を使用しています)

チケット好評発売中

シアター・ピース…
短歌とドラマを音楽で綴る
コンチェルト

サラダ記念日協奏曲

日時 6年2月26日(土)午後3時開演

会場 エポックなかはら
(JR南武線武蔵中原駅前)

原作 俵 万智

脚本・演出 ふじたあさや

音楽 吉岡しげ美

出演 俳優館

入場料 3,000円(全席指定)



「寒いね」と話しかければ
「寒いね」と答える人のいるあたたかさ
愛—仕事—ふるさと—その間を揺れ動く
「俵 万智」というフィクション

●問い合わせ **044-952-5000** の川崎市生涯学習振興事業団(主催)
044-233-6250 の同事業団分室

'93市民企画講座「第2弾」の受講者募集

—12月16日午前10時から ☎ 952-5000で受付け—

あなたはどのように歳を重ねていきますか？

映像を通して老いの自立を考える

当事業団の一般公募による '93市民企画講座企画スタッフが、時代のニーズに基づき企画した「市民企画講座」の“第2弾”です。

平成6年1月17日から3月14日まで全9回を開きます。会場は小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩2分の新百合21ビル内、当事業団研修室。受講料は無料(3月12日の映画のみ有料)です。

受講申し込みは12月16日午前10時から ☎ 952-5000の当事業団・市民企画講座係で受付けます。対象は市内在住または在勤の方、30人です。

1月22日の「阿賀に生きる」▽3月12日の「心の香り」は一般公開で、どなたも参加できます。

映像を通し、プラス志向の「老い」を皆で考え、話し合ってみませんか。
そこからあなたの自立が始まるかもしれません。

日 程 と テ ー マ

回	月 日	講 座 内 容
1	1/17 (月)	講座説明—講座の目的と流れについての説明と案内 講演「自立とは。」 一番ヶ瀬康子 日本女子大教授 (社会福祉、女性問題研究家)が、老いてからの自立について話す。
2	1/22 (月)	映画「阿賀に生きる」鑑賞(一般公開…無料) 監督 佐藤 真 ～自らに誇りを持ち、見事な年のとり方をした人達～
3	1/31 (月)	映画「阿賀に生きる」を土台として「あなたの生きがいとは」についての話し合い。 コーディネーターは女性史研究家の山本千恵さん
4	2/7 (月)	ビデオ「フライド・グリーントマト」鑑賞 監督 J・アブネット ～ヒロインたちの懸命に生きる姿と美しい友情～
5	2/14 (月)	ビデオ「フライド・グリーントマト」についての話し合い テーマ「人との出会い」 コーディネーター 山本千恵さん
6	2/21 (月)	ビデオ「息子」鑑賞 監督 山田洋次 ～父と子の絆、本当の幸せとは何か～
7	3/7 (月)	ビデオ「息子」についての話し合い テーマ「家族のあり方」 コーディネーター 山本千恵さん
8	3/12 (土)	映画「心の香り」鑑賞(一般公開…有料) 監督 孫 周 ～少年と祖父との心のふれあい～
9	3/14 (月)	映画「心の香り」についての話し合い テーマ「自立に向けて」 コーディネーター 山本千恵さん

- ◆ 会場は川崎市生涯学習振興事業団(小田急線新百合ヶ丘駅下車、徒歩2分新百合21ビル内)
- ◆ 時間はいずれも午後1時半～3時半。



国語教師でシャンソン歌手の
花輪 兵庫さん

いまを話す

インタビュアー 伊藤 眞弓さん

Vol.20



恋心を甘く切なく歌うシャンソン。高校の国語教諭、花輪兵庫さん(55)が今春、シャンソン歌手としてデビュー、話題になった。「シャンソンには、美しい日本語の響きをもつ名訳が多い」と、音楽とは畑違いの中年教師が「魅惑の歌声」花輪さんの力セット・アルバム『ビクター』のプロになった動機を吐露する。「年々、生徒の語彙力の低下を痛感。日本語で歌うシャンソンのファンが増えて、美しい言葉の再生を」とも、「定年退職後は歌手に専念し、老人ホームで慰問コンサートも」と将来のライフステージに思いを馳せる。生涯学習とは、未知のジャンルへの挑戦でもある。インタビュアーは「語りの会 話芸写」の伊藤眞弓さん。

日本語の美しい響き 大切にしている魅惑の声

——高校の古典の先生がプロ歌手になったとうかがい、大変驚きました。生徒さんの反応はいかがでしたか。

花輪さん 私のシャンソン・アルバムが校内放送で流れ、生徒から「これが花輪先生の声なの」とか「すごいな」と言われました。なかには「芸能界は甘くない」と、反発する子もいます。

——でも、生徒さんとの距離が縮まったのでは。
花輪さん そうですね。特に新聞で紹介されてからは、親しみを

感じると言われました。

——ところで、どんないきさつから、デビューに至ったのですか。

花輪さん 四十歳を過ぎたころ、テレビやラジオから流れる歌は、ニューミュージックやロックばかりで、聴くのも嫌でした。そんな時、テレビドラマのBGM(背景音楽)に「ロマンス」というジュリエット・グレコの歌が流れまして、これが、心にしみて「シャンソンって、いいなあ」と心底、思っただけです。

——そういった経験、だれに

もありませんよ。でも、普通はそれで終わってしまうのですが。

花輪さん 教師の世界は、父母が考えているより狭く、人間関係で悩んでいたこともあって、グレコの声が脳裏から離れませんでした。

——私にも、教師をしているお友達がいいますが、人を教えるって意外とストレスが溜まり、教員同士が心を聞いて話し合える雰囲気も少ないようですね。

花輪さん ええ。それで都内のライブに通うようになり「自分でも歌ってみたい」と思うようになった。

花輪 兵庫さん

はなわ・ひょうご=昭和13年山梨県生まれ。横浜国大卒業後、山梨日日新聞記者を経て高校教師に。平成3年から県立百合丘高校勤務。40歳半ばからシャンソンの修行を始め今春、ビクターよりセカンドアルバムを発売。コンサートや「シャンソンと日本の伝統語り物」をテーマに講演など異色の活動を展開。シャンソン協会正会員。

人間関係で悩む グレコの歌に感動

「自分も歌いたい」

りまして。

—それで、シャンソンの勉強を始められたわけですね。

花輪さん はい、八年前からです。町のシャンソン教室に通い始め、三年前、アルバムカセットを自费制作しました。私の存在を世間にもシャンソンを聴いてもらいたいという一心で。

—ほお。相当、費用もかかったと思いますが。

花輪さん 百三十万円ほどでした。たまたま、そのテープを芦野宏先生が聴いてくださり「基礎から訓練すれば上達する」と励まされたんです。

—それは幸運でしたね。

花輪さん それがかきつけて、本格的な修行を始めて、時期をみて芦野先生に「プロになりたい」と伝えました。最初は「厳しい」と言われました…。

—それにも、めげずに。

花輪さん はい。ボイス・トレーニングの個人レッスンや、芦野先生からアドバイスを受けました。

昨年「日本シャンソン協会」の正会員になることが認められ、ピクチャーのオーディションにも合格したわけです。

*日本シャンソン協会 シャンソンの普及を目的に、プロ歌手三百人が所属しており、会長は石井好子さん。

—シャンソンを始める前に、音楽活動のご経験は。

花輪さん それが、全くないんです。親から「芸術関係の仕事は身の破滅だ」と言われ続けて育つたものですから(笑い)。

—はあー?(げげんな表情)。

花輪さん 食うや食わずの戦中、戦後の時代でしたし、農家だったので「音楽や文学で身を立てるなど、とんでもないことだ」との風潮が強かったのです。

—趣味としても、おやりにならなかつたのですか。

花輪さん いえ、小さいころから音楽は好きで、手回しの蓄音機で、流行歌からクラシックまでよ



伊藤 眞弓さん

いとう・まゆみ=東京生まれ。私立普連土学園卒業後、米国留学。Grando View College卒。母で声優の北川智繪主宰の話芸写(中原区)で「語り」を学び、上演音楽の作詞作曲を担当。英語の通訳、翻訳、ナレーター活動も。難民支援の市民活動で「語り」のチャリティーイベントにも参加。川崎に住んで25年。自宅は中原区新丸子。

く聴きました。ラジオから流れるヨハンシュトラウスの曲は一度聴いただけで、ハーモニカや笛で吹けたんです。「チゴイネルワイゼン」や「ドナウ川のさざ波」も得意でしたね。

—音楽への感性は鋭かったのですね。

花輪さん でも、青年になってから音楽と直接かかわったことは全くなく、宴会で「浪曲子守歌」を歌う程度でした(苦笑い)。

—浪曲子守歌とシャンソンでは落差があり過ぎますよ(顔を赤くして笑う)。花輪さんは、かつて

詩・短歌もたしなまれたそうですね。自己表現の手段を探していたのでしょうか。

花輪さん そうかもしれませんね。今みたいに自由にモノが言える時代だったら、親の反対を押しきってでも、自分の好きな道に飛び込んででしょう。若いころは、人生を豊かにしたいと思い、詩人の高野喜久男さんに指導を受けていました。

——そんな蓄積があつて「美し



退職後は歌手に専念 地域でボラン ティアン演奏会も

い日本語の歌」に関心を寄せたのですね。シャンソンには日本語の名曲も多いですね。

花輪さん おっしゃる通りです。高英男さんには、専属の訳詞家の中原淳一さんがいます。歌にびつたりの訳詞は歌いやすいですね。

——母も私も越路吹雪さんの大ファンで、恋愛を歌った曲が多いですね。

花輪さん シャンソンというと、恋心や愛の曲を思い出しますが、男の友情や反戦・平和などの社会現象など、様々なジャンルの曲があります。そして、シャンソンの特徴は、ストレートに主張するのではなく、全人類を包み込む、しなやかさが基調になっています。

——感情の移入もすばらしいですね。

花輪さん そうですね。語りの部分は特に。

——ご自分の経験も重ねて歌われているのでしょうか。

花輪さん 根底にはありますが、むしろ抽象化します。歌い手が感情に流され過ぎると、観客が感動しないんですよ。

——(うなずきながら)私も「語



り」を学んでいます。語りとシャンソンについて、ユニークな考えをお持ちのようですね。

浄瑠璃や浪曲に通じるシャンソン

花輪さん 本場のフランスは別格として、日本でシャンソンが盛んなのは、浄瑠璃や浪曲など、語り物の伝統があるからです。シャンソンはバラード(語り)、イン

テンポ(正確な拍子で)、アツチエ・レランド(次第に速める)という曲構成です。浄瑠璃も歌う部分、語り、三味線をベンベンと引く緊迫した部分からなり、形式がよく似ています。仏教の読経にも通じるものがあります。

——シャンソンが読経に通じると、おっしゃいましたが……。

花輪さん 私、僧侶の資格も持っているのです。般若心経は、短い経典でリズムが主体ですが、長い経典は散文的に読む部分と歌う部分があります。空海が中国から日本に持ち帰った「理趣経」がそうです。

——花輪さんは、どんな歌を歌っているのですか。

花輪さん 四月の「シャンソン・フォーリー93」(シャンソン協会主催)で「遺言」を、八月のチャリティーコンサートでは「百万本のバラ」「ラ・ボエーム」を歌いました。私のアルバムには、日本の「遠くへ行きたい」が入っています。これは、奥の深いシャンソンのほんの一部ですので、今後は日本での薄い歌や新しい歌にも挑戦しようと思っています。

——どのような練習を……。

花輪さん 週一回、ボイス・トレーニングや言葉の割り付け、リズムの感覚の指導を受け、自宅ではカラピアノで練習したり、車を運転しながら発声練習をしたり。

先日、東京・渋谷の「青い部屋」の月曜セッションコンサートは、初のライブでしたが。

花輪さん 緊張しましたが、ほど良い緊張状態で、うまく歌えたと思います。終わった時は、非常に充実感がありました。

教師と歌手の「二足のワラジ」。今後はどんな活動を。

花輪さん 来春、コンサートを開きたいと企画中です。また、セッション協会を通じて、名訳のセッションを美しい響きの日本語の歌として広めたい。中山晋平や山田耕筰の日本の歌曲も歌いたい。定年退職後は、歌手に専念すると同時に、ボランティア・コンサートを老人ホームなどで開くつもりです（真剣な表情で）。

花輪さんの挑戦は、塾年の方に希望を与えたようです。今後のご活躍を期待しております。

題字は高橋清・川崎市長。

新百合ヶ丘「ピストロ・パリエ」にて。

構成／野々川千恵子
文責／田中 園

好評の「いまを話す」のインタビューー

新春号から「語り」の伊藤真弓さんが「専属」



小誌の「ほんねインタビュー いまを話す」は、好評のうちに、今回で20回目になりました。この間、川崎市内のさまざまなジャンルの第一線でご活躍の方々など、20人がゲストとして登場され、市民インタビューー19人がゲストのホンネを引き出す努力をされました。

また、読者のみなさまには、ゲスト・インタビューーのご推薦やご助言をいただきました。さらに、市内外の生涯学習研究者や生涯学習に携わっているの方々から「迫力ある異色のインタビューー記事」「生涯学習情報誌のパイオニア（先駆者）として注目している」と、望外な評価をいただいております。改めて感謝申し上げますとともに、今後みなさまの声を大切に紙面づくりを心掛けますので、ご愛読くださいますようお願い致します。

さて、「ほんねインタビュー いまを話す」が、来年の新春号から一部、衣替えをします。これまで、写真の大半は、ゲストの表情でしたが、今後はゲストがその分野で活躍している場面を可能な限り掲載し、いっそう読みやすくします。

また、市民インタビューーは、毎号交替していましたが、新春号から「北川流／語り」の伊藤真弓さん（今号のインタビューー）＝写真＝にお願いします。「語り」は、豊かな感情表現によって、観客を楽しませ、笑わせ、感動させ、泣かせる「芸」です。それだけに、人間が心底から好きで、洞察力に優れ、根気がなければ務まらないと言われていました。伊藤真弓インタビューーにご期待ください。

伊藤真弓さんの話 「ステージ・アップ」を初めて手にしたのは今年の3月号。表紙のすてきな絵に魅せられ、内容が充実しているのに感激しました。その後、ご縁があって「いまを話す」のインタビューーをしました。新年から連続してインタビューーのお話をいただき「私でいいのですか。勉強させてください」とお応えしました。よろしくお願ひします。

はりきってます グループ紹介



楽しい！暮らしに 役立つモノづくり

仲間と楽しむ 学ぶ 活動する 生き生きと。

木彫同好会「楓」―前川いづみ
代表(43)ら十三人の会員は、
「木のぬくもりがする手作りの作
品に囲まれた生活を」と、世界に
一つしかない自分で作った木彫り
の小物づくりに、愛情を込め彫る
喜びを満喫している。
定例会は、県立高津青少年会館

手作りを彫る喜びに満喫する

木彫同好会「楓」

の会合室で毎月第一、第三水曜日の午前、行われる。会員が自宅で作ってきた半完成品を、渡辺一生木彫教室の清水玲子師範が、各人の個性を生かし、レベルに合わせ指導する。上手に彫れない箇所は見習い覚える。

素材の木の向きを変えながら、鉛筆で線を引く人。異なった彫刻刀を使い分けて、彫っては眺める人。完成間近の作品に下塗りや工芸漆を塗る人。

会員の手によって、少しずつ命が吹き込まれるように、ただの木が、鏡の枠や鍋敷き、マガジンラックなどに形を変えていく。

花びらや葉っぱが重なり合い、光と影とが溶け合う芸術性を作品で表現しようと心血を注ぐ人も。

手を休めて、他の会員の完成途中の作品を見たり、笑顔でおしゃべりを楽しみ、和やかなムードが会合室全体を包む。

初心者、十七の基礎的作品作りをした後、それぞれの会員のレベルと希望に沿って、好きな作品に挑戦する。

同会の発足は昨年四月。渡辺一生木彫教室に通っていた人や清水

師範らの作品を鑑賞し、興味をもった人が集まりスタートした。

大野和子さん(63)は「アットホームな雰囲気です。気持ちが若返ります。本当に来るのが楽しみ」とのこと。

森下雅子さん(56)は「自然の動きを想像しながら、平面的にならないよう、生き生きした作品を完成させるのが目標」と話す。

清水師範は「手作りの魅力は、同じデザインでも、どこにもない物ができ、作品への愛着も。暮らしに役立つ物を作るのは楽しいものです」と語る。

前川代表は「木のぬくもりと、手作りの良さにひかれて始めました。家の中が自作でいっぱいになるのが夢です」と笑顔。

栗原節子さん(62)は「娘の嫁入り道具に、手製の小物を持たせたら、それを来客に自慢しているようです」とうれしそう。

関悦子さん(41)は「今、マガジンラックが欲しいのですが、自作が出来るまで我慢しています」。

同代表宅は、高津区溝ノ口一五二。 ☎044-760000。

取材／小誌・山本綾子
写真／小誌・熊野史子

吉川英治著 宮本武蔵 講談社

夢中で聞いた担任の話術

麻生区上麻生 戸松三千代

私の幼いころには、ビニールなどなく、お弁当からお汁が出そうな時は、新聞紙に包み、そして、ふろしきに包んだものだ。

小学校四、五年のころ、宮本武



読むのには一番時間をかけた本。そして、ひとりで読んだのではなく、四十人の子供たちと一緒に読んで本である。

私が勤めていた昭和五十年ごろの学芸大学附属世田谷小には、「〇」の時間と称する、週四時間の学級裁量の時間があり、それは「子供と教師が密着する時間」とも、「教師の人間性で子供の人間性を陶冶

蔵が新聞に連載されていた。雨が降って、昼休み運動場で遊ぶことのできない時など、受け持ちの志波先生が、その宮本武蔵を読んで、お話をしてくださった。

私たちは生徒は、雨の降る日を楽しみにしていた。武蔵そして又八、お通、小次郎と先生のお話に夢中

松谷みよ子著 龍の子太郎 講談社 児童40人が読み劇にする

麻生区片平 菅原節生

する時間」とも言われた。各学級担任はその時間の活動を、あるいは理科的に、あるいは体育的にと思いいかに設定して取り組んだ。四年の担任だった私は、この長編物語を一年かけて読むことにしたのだ。

この本は、筋の展開や場面の様子の描写、民話の特徴等を楽しませてくれるばかりでなく、出来事の意味を、読み手なりに考えさせ

になり、「もつともつ」とせがんで騒いだものだった。

女学校五年生の時、大日本印刷へ勤労働員で通う毎日となった。授業の無い毎日、読書の時間を

得て、好きな本を読むことができた。その時、宮本武蔵を貸してく

ださる友があり、夢中になって読んでた。

志波先生が、幼い私たちに分かるように、子供向きに、おもしろ、

おもしろく身振り手振りを交えて、武蔵が、そばを食べた箸で蠅をつ

てくれる。——例えば、龍の子太郎の母親タツが、本人を生む前に

龍の姿になってしまったことの意味。龍は長い間、両目が不自由な

ままに暮らしてきたことの意味。母の龍が人間の姿に戻ることで

きたことの意味などだ。

一年間、読み続け、学年末には、

学級の総力で劇「龍の子太郎」を上演した。それに至る布石として、

大切な場面を私が朗読し、それを

まんだ姿や、武蔵を慕うお通のことなど、つぶさにお話しくださった先生のお姿を思い出し、お心遣いの程を知り、じーんと心温まるものを感じ、ただただ感謝の念でいっぱいになった。

六十歳を越えた今日も、宮本武蔵のことに接する度に、また、雨の降る日など、今はなき恩師の、子供を思う細かいお心遣いを、ありがたく、なつかしく、あれこれ思い出し、心のなごみを感じる今日この頃である。

子供たちが聴いてノートに書き取る、いわゆる「聴写」をしたり、グループで範囲を分担して小さな劇作りや紙芝居作りをしたり、通常の国語の授業では無理な息の長い読みを体験できたのだ。

先日、劇で「あや」を演じた女子から結婚の通知が届いた。新郎は、強く、賢く、やさしい龍の子太郎のような方なのだろうか。彼女は、あのころ聴写したノートをまだ大切に保管してあるそうだ。

ご投稿をお待ちいたします。1行15字42行です。掲載後オリジナル・テレカを贈ります。

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演



「女と男のフォーラム」

「探してみませんか もう一つの世界」〜豊かな自分づくりをめざして◆多摩区役所会議室「12月4日13時半〜16時。地域の女性・男性が、なぜ家庭や職場から出て新しい地域社会づくりを目指していくのかを考える。パネリストは藤井由紀子・特別養護老人ホーム多摩川の里主任寮母▽余郷昌昭・NTT川崎北支店長▽阿部美保・専修大「樹々の会」福祉ボランティア▽滝沢真由美・フルート教師▽太田亨・少年野球「ブルーキングス」監督。会場は登戸駅から徒歩7分。川崎市主催。実施は同フォーラム多摩区実行委員会。詳しくは☎93217255の甲畑さんか☎20012300の川崎市女性行政推進室の島山さん。

「わくわく実験教室◆東

市外局番のないものは044

学習・文化情報

芝科学館「12月11日「リニアモーターカーの走るわけ」をテーマに、超伝導の仕組みをおもしろく解説▽1月8日「太陽電池」をテーマに実験を中心に解説。いずれも時間は9時半〜11時半と13〜15時の2回。対象は小学生以上で親子の参加も歓迎。定員各回先着250人。入場無料。申し込みは☎54912200の実験教室担当。同館はJR川崎駅からバスで小向か小向交番前下車。

「親と子の絵本ふれあい講座」子育てに絵本を◆多摩市民館「2月8日は「子ども達は本当に愛されているか」▽2月15日は「子どもの発達と絵本I」おなかの中のおかちゃん▽3歳が内容。▽2月22日が「同II」。3歳すぎ〜8歳が内容。いずれも時間は10〜12時。講師は山崎翠・立川高等保育学院講師。多摩図書館主催。定員先着30人。保育有り、(有料)。申し込みは12月16日から☎93513400の多摩図書館(登戸駅から徒歩8分)。

「3級販売士資格試験準備講座◆県立勤労女性会館」1月14〜2月9日の毎週月水、金曜13〜16時10分、全12回。講師は澤田長俊・パト教育センター所長、小山治男・一般販売士。内容は、小売業関係の販売員の基礎知識と技術の習得。対象は県内在住在勤の人。テキスト代3520円。定員30人。申し込みは12月17日までに往復はがきに氏名、住所、受講動機、電話番号、性別、年齢を記し〒210幸区南幸町3の154の3の同館(☎5110451。JR南武線矢向駅か尻手駅から徒歩7分)。

「クリスマス親子劇場」とみ座公演(人形劇)◆会館とどろき「12月19日10時半、13時半開演。演目は「金のがちよう」「大工と鬼六」。入場料は4歳以上50円。申し込みは12月18日☎73313333の同館(JR南武線武蔵小杉

「発声(コーラス)教室②歌声のひろば◆県立高津青少年会館」①は1月5〜3月30日の毎週水曜。内容は発声法の基礎からコーラスまで②は1月6〜3月31日の毎週木曜。みんなで楽しく唄う。いずれも時間は19〜21時で全13回。対象は青年。定員15人。申し込みは☎84412101の同館(JR南武線武蔵溝ノ口駅から徒歩5分)。

「読書普及講演会◆宮前市民館」12月17日13〜14時半。テーマは「女の自立と男の自立」。講師は木元教子さん。受講料無料。定員先着200人。申し込みは12月3日10時から☎88813918の宮前図書館(主催)同市民館は田園都市線宮前平駅から徒歩10分。

「オリエント文化論〜夢とロマンの、オリエント」

催し



へあなたもどうぞ◆幸市民館「1月22〜3月26日の毎週土曜14〜16時、全8回。最新発掘情報でわかりやすく解説。古代オリエント博物館の見学も。講師は堀吶・同博物館部長、近藤二郎・昭和女子大講師ほか。対象は市内在住在勤で18歳以上の方。受講料4千円(博物館見学は別)。定員50人。申し込みは1月8日14時に同館へ直接来館。詳しくは☎54113910の高橋さん。同館はJR川崎駅よりバスで幸区役所前入口下車、徒歩2分。

学習・文化情報

参加したい催しがある

駅からバスで等々力グラウンド(入口下車)。

「能と狂言◆川崎能楽堂」
12月11日第一部12時開演。

演目は狂言「萩大名」和泉流・野村万之介。能「鉢木」

観世流・鶴沢雅▽第二部15時開演。演目は狂言「栗焼」

和泉流・野村万作。能「安達原」観世流・鶴沢久。鑑賞券3千円。前売りは☎2

2217995の能楽堂で電話予約は午後(JR川崎

駅から徒歩5分)。詳しくは☎22218821の川崎

市文化財団(主催)。

「年末年始お楽しみイベント」①年賀状作品コンテ

スト②髪の毛立ちコンテ

スト③クイズ大会④アニメ映画大会⑤乾電池ロボットと

力くらべ⑥お年玉記念品プレゼント◆東芝科学館①

は12月24日②は12月24日③は12月24日と25日④は12月27

日と1月6日⑤⑥は1月6日と7日。対象は親子。参加

者全員に参加賞、優秀な方には優秀賞。同館はJR川崎駅からバスで小向か小向交番前下車。詳しくは☎54912200のイベント

担当。



「ダンスパーティー◆麻生老人福祉センター」12月

18日13時15分45分。対象は市内在住60歳以上の方。定

員先着男女百三十人。参加費300円。12月16日までに、

参加費を添え同センター事務室へ直接申し込む。同所

は☎96618956、小田急線新百合ヶ丘駅からバス10分。

「自然観察会く昆虫の冬越し◆市青少年科学館」1

月9日10時15分。雨天決行。指導は東洋大・林長閑さん。

対象は小学生以上。定員20人。持ち物は弁当、水筒、

ナップザック、敷物、ルーペ。

暖かい服装、活動しやすい靴で。申し込みは12月9日から☎9221473

の同館(小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分)。

「市民天体観望会く土曜の夜に星をみよう」◆市青

少年科学館「12月11日と18日17時半▽1月8日18

時19時半。いずれも雨、曇りの時は中止。星雲、星団

など観察。小学生は保護者同伴。同館は☎92214

731、小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。

「天体写真撮影会◆市青少年科学館」1月9日18

時20分。雨、曇りの時は中止。アンドロメダ銀河など撮影。

対象は小5以上。小学生は大人同伴。定員14人。持ち

物はフィルム、一眼レフカメラボディ(カメラの貸し

出しあり)。申し込みは12月5日から☎9221473

の同館(小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分)。

「プラネタリウム◆市青少年科学館」「クリスマス

の星」をテーマに、その日の星空や天文の話と投影。投影時間は毎週火く金曜15

新たな国際コミュニケーションをめざす

受講生募集

TOEIC 対策セミナー(初心者入門編・中級編)

Test Of English for International Communication

英語によるコミュニケーション能力を計る試験で、スコアで判定されます。国際化時代のいま、各分野で重視されている資格です。中級編では、通常会話の要点を理解し、応答可能な程度(スコア700)が目標です。

- 期 間 平成6年1月13日～4月28日の毎週木曜日(全15回)
- 時 間 初級は午後1時半～3時半、中級は午後6時半～8時半
- 会 場 当事業団(小田急線・新百合ヶ丘駅北口徒歩2分・新百合21ビルB2)
- 講 師 松本圭子(横浜YMCA、TOEIC講座講師)
- 受講料 20,000円
- 定 員 先着30人
- 申込み 平成5年12月16日(木)10時から☎044-952-5000で受付け
- 主 催 (財)川崎市生涯学習振興事業団

学習・文化情報

ききたい音楽がある

時▽毎週土曜13時半と15時の2回▽日曜・祝祭日10時半、12時、13時半、15時の4回。入場料は大人100円、子ども50円。休館日は毎週月曜、23日と28、31日。詳しくは☎92214731の同館(小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分)。

コンサート

「芸能サロン川崎能楽堂の四季'94冬◆川崎能楽堂」1月29日14時開演。井上頼豊さんのチェロリサイタル。入場料2500円。前売りは12月21日9時から☎2217995の能楽堂。同堂はJR川崎駅から徒歩5分。詳しくは☎22218821の文化財団。

「創」の公演く奥平哲也マリンバクリスマスナイト

◆飯山商店」12月18日19時開演。樽太鼓、ピアノによる日本の調べほか。予約制会費は飲み物・軽食付きで2千円。予約・問い合わせ☎52212739。同商店はJR鹿島田駅から徒歩7分、近くに鹿島田郵便

局がある。

「ヘンデル」メサイア

◆神奈川県立音楽堂ほか」12月13日、サントリーホール。入場料は全席指定2千円▽同日、県立音楽堂。入場料は全席自由1500円。いずれも18時半開演。東成学園主催。指揮はカール・マルティン。演奏は昭和音大管弦学部、同大・同芸術学院合唱団。独唱は五十嵐郁子さんほか。同ホールは千代田線赤坂駅から徒歩10分。同音楽堂はJR桜木町駅から徒歩10分。詳しくは☎9531230の昭和音楽芸術学院。

洗足学園大学シンフォ

ニツク・ウインド・オーケストラ特別演奏会くオリジナル作品の夕べ◆前田ホール」12月14日18時半開演。曲目はバーンス「呪文とトッカータ」、メンデルスゾーン「吹奏楽のための序曲」ほか。指揮は林紀人さん。

マリンバ独奏は藤井むつ子・同大学講師。入場料は全席自由1千円。前売りは☎8771321(内線276)の同大学カレッジセン

ター内SGプラザ。同ホールはJR南武線武蔵溝ノ口駅から徒歩8分。詳しくは☎8771321(内線316)の同大学。

スポーツ

①親子スポーツ教室②健康体力改善教室◆市体育館」①は1月14、3月25日の毎週金曜9時半〜11時45分、全10回。体操をしながらスポーツを楽しむ。講師は横浜体育クラブ指導員。対象は3歳児とその保護者。定員百組。参加費1組3千円②は1月14、3月25日の毎週金曜14時半〜16時半、全10回。メディカルチェックをしながらトレーニング。健康、体力に自信のない方向き。講師は健康システム研究会の小山内医学博士、運動生理学者、トレーナー。対象は市内在住在勤の15歳以上の方。定員40人。参加費3千円。いずれも申し込みは12月17日の①9時55分②13時55分に直接来館。同館はJR川崎駅東口から徒歩15分。バスあり。詳しく

は☎20013255の担当・服部さん。

「アイススケート体験教室◆よみうりランド」12月11日10〜12時。初心者も滑れるよう指導。講師はインストラクター・水原健司さん。参加費は滑走料、貸靴代、保険料、スカイロード往復で千円。問い合わせは☎9661111(内線4033)〜4037)よみうりランド営業課・田崎さん。会場は京王相模原線京王よみうりランド駅下車。

①卓球②バドミントン

③テニス◆市体育館」①は1月19、3月23日の毎週水曜13時半〜15時、全10回。講師は岡野恵美子・卓球指導員。教材費千円②は1月20、3月24日の毎週木曜13時半〜15時、全10回。講師は当間健司・バドミントン指導員。教材費2千円③は1月22、3月19日の毎週土曜10〜11時半、全9回。指導はアメリカンテニスクール講師。教材費2500円。いずれも初心者向けで、対象は市内在住在勤の15歳以上の方。定員40人。受講

歌おう

'93少年の祭典



1000人の市民大合奏・合唱

少年の胸は高鳴り

青年の血は踊る!

と き 12月19日(日) PM3:30開場 PM4:00開演
主 催 ボレロを楽しむ会実行委員会
共 催 川崎市教委 他

と ころ 川崎市教育文化会館
制 作 芸術村あすなる
後 援 神奈川県教委・川崎市生涯学習振興事業団

学習・文化情報

魅力ある絵がある

料4千円。申し込みは1月12日の①②9時55分③18時25分に直接来館。同館はJR川崎駅東口から徒歩15分。バスあり。詳しくは☎200-3255の担当・服部さん。

①サタデー ナイト

エアロビクス②気功健康体操◆麻生スポーツセンター

①は1月22、3月26日の毎週土曜17時半〜19時、全10回②は1月20、3月24日の毎週木曜13時半〜15時、全10回。いずれも受講料4千円。申し込みは1月11日18時に直接来館。同センターは小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩5分。詳しくは☎95-1-234の担当・田中さん。

ギャラリイ

「ギャラリイ華沙里」12月7日まで、トルコの女性画家で印象派のスイベル・ギユレ▽12月9、25日、グループ展。結城天童、佐野隆人、桜井利雅の作品を展示。開館時間は10〜19時、最終日17時まで。水曜休廊。

同所(☎954-2333)は小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩5分。

「IBM市民文化ギャラリー」12月2、20日、1993年国際漫画展。21世紀と人類「共存」をテーマに、世界一流風刺漫画家たちの最新作原画を公開。開館時間は11〜19時。水曜休廊。入場無料。詳しくは☎222-8821の文化財団。同所はJR川崎駅東口から徒歩3分。

「会館とどろき」12月7、21日、教職員写真コンクール作品展。川教組主催▽12月22、1月4日、会館とどろき講座子ども絵画・書道展。教職員互助会主催。開館時間は9〜21時半、日曜祝日は17時まで。12月29、1月3日は休館。同館(☎733-3333)は、JR南武線武蔵小杉駅からバスで等々力グランド入口下車。

「市青少年科学館」12月26日まで、川崎のタヌキ展。市内の生息分布などから都市近郊にすむタヌキの生態に迫る。月曜と23日休館。

入場無料。同館(☎922-4731)は、小田急線向ヶ丘遊園駅から徒歩15分。

「中村正義の美術館」12月12日まで、中村正義常設展。開館時間は11〜17時。月、火曜休館。12月13、3月1日は冬季休館。入館料は一般500円、学生300円、小中200円。同館(☎953-4936)は小田急線読売ランド前駅から京王よみうりランド行バスで細山下車、徒歩3分。

「市民ミュージアム」12月4、11月30日、鳥山明の世界展。原画4百点、ドラゴンボールのオリジナル映像、キャラクター商品群、海外出版物の資料など展示。開館時間は9時半〜17時。休館は毎週月曜、12月24日、同27日、1月4日。観覧料は一般700円、高大学生500円、小中学生300円。同所(☎754-4500)はJR南武線武蔵小杉駅からバス10分。

「ギャラリイ幸」12月10、22日、「寿」の色紙即売展新春をひかえて美しい色紙を展示。開館時間は11〜18時。木曜休廊。同所(☎55-8181)はJR川崎駅西口から徒歩5分。

会員募集



●総合武道(空手・杖術・棒術)《中原区木月住吉町1-746・C-403》一緒に身心を鍛えましょう。

やる気のある方を募集します。年齢、性別は問いません。見学に来てください。指導は7段の山口喜志さん。毎週月曜19〜20時半、中原区の住吉中体育館で。会費月千円。連絡は☎433-5480の山口さん宅へ。

●サンジャック《高津区蟹ヶ谷3-13、功刀裕子代表》プロのインストラクターを迎え、各人のレベルにあわせてエアロビクスをしています。定期的な運動で楽しく健康維持、体力増進をしましょう。月4回、日曜15〜17時。中原市民館他で。連絡は☎7-1-9-27高田庸子宅まで。

●麻生漢詩研究会《麻生区高石4-20-1-406、川崎千代子代表》講師の村

上幸雄先生のお話を通して、漢詩の世界に遊んでみませんか。日常に埋もれた自分からの脱却の好機です。毎月第一、3火曜13時半〜15時半、麻生市民館か新百合21ビルで。会費月千五百円。連絡は☎955-2463の同代表宅まで。

●王禅寺バステル画会《宮前区有馬5-9-13、服部好子代表》バステルで静物や風景画を描いています。毎週月曜9〜12時、王禅寺ヨネッティで。12月6日午後から13日正午まで3階廊下で展示会を開催します。お出かけください。連絡は☎854-15822の同代表宅まで。

●小袖の会《川崎市大島1-23-2、浅沼雅慧代表》着物を一人で着たい、帯結びもしてあげたいと思ってる方、着付とマナーの勉強をしませんか。講師は装道さまの学院評議員の森愛子先生。月2回、土曜13〜16時、市教育文化会館で。連絡☎は244-3408の代表宅(15〜21時)へ。

●麻生漢詩研究会《麻生区高石4-20-1-406、川崎千代子代表》講師の村

●麻生漢詩研究会《麻生区高石4-20-1-406、川崎千代子代表》講師の村

●麻生漢詩研究会《麻生区高石4-20-1-406、川崎千代子代表》講師の村

●麻生漢詩研究会《麻生区高石4-20-1-406、川崎千代子代表》講師の村

●麻生漢詩研究会《麻生区高石4-20-1-406、川崎千代子代表》講師の村

小誌郵送料が大幅増 配布場所のご利用を

編集チームからのお願い

謹告

生涯学習情報誌「月刊 Stage Up」が、財政的ピンチに陥っています。

言いつまでもなく、同誌の予算は、川崎市議会の審査と議決を経て市教委からの歳入と、小誌の広告収入です。小誌の各号のページ建ては16ページが基本ですが、今年度（4月号から）は、5月号で新年度事業計画

や川崎市生涯学習基本計画素案市民討議を▽夏季号で「特集 川崎に生涯学習の時代は到来するか」を▽10月号で「特集 かわさき市民アカデミー 開校」などを掲載し24ページに増ページしました。

特集記事について「タイムリーな掲載」「川崎の生涯学習発展の節目、節目の記事が分かりやすく、コンパクトにまとめられ、記録的文書としても優れている」などの温かいご意見が寄せられています。しかし、その半面、財政を圧迫している側面があるのも事実です。

さらに、財政を圧迫している要因の中に郵送料・配送費の増加が挙げられます。

この数年、多くの地方自治体（都道府県市町村）が生涯学習の推進を重要施策としていることは、ご承知の通りで、生涯学習情報誌の発行を計画したり、模索段階にある地方自治体も少なくありません。

こうした中、50の地方自治体や教育委員会、財団法人が小誌に注目され、郵送要請があり、それが歳出増につながっています。

小誌の配送は、市民館など公共施設へは川崎市の集配便を使用させていただき、川崎信用金庫と横浜銀行

各支店への配送には、両行の行内便を利用させていただいています。このことは、配送費の節減に大きく寄与しています。このご厚情に対し、改めて関係各位に感謝申し上げます。

このように行政、民間のご協力を仰ぎながら、配送・郵送料は予算を大幅に上回っているのが実情です。このため、無料配布場所は従来通り確保しつつ、11月号から集配便を利用できない施設への郵送を一部取り止め、市内145カ所の配布場所へ直接出向いてくださるようお願いしました。なお、小誌の郵送料（16ページ）は、1部で120円、2部で175円、5部で250円です。10部で360円かかっています。

「Stage Up」は、当事業団の二ユースから生涯学習情報誌に衣替えるため、紙面を刷新したのが1991年9月号（通巻4号）でした。事業団二ユースの時の発行部数は5千部、紙面を刷新した当時は1万2千部、現在は1万7千部です。

この間、季刊号から隔月号を経て、月刊誌になりました。

小誌は「市民がつくる 市民が学ぶ 市民が拓く 生涯学習情報誌」を基本に据えた編集を心掛けてきました。また、生涯学習が講座や講演、

シンポジウムなどに参加することだけを意味せず、人と人との触れ合いを通して、学び合うことも生涯学習だと考えています。

この視点から、おもに市民がゲストとして登場する「ほんねインタビュー いまを話す」や、市民の生き生きとした活動を伝える「はりきつてます グループ紹介」、読者投稿欄「心の中の私の一冊」を企画し好評を得ています。また、「……いまを話す」も「……グループ紹介」の大半は、読者の方々の投書や電話による推薦によって作られています。

このような小誌の着実な発展も、各市民館などの公共生涯学習施設からの情報提供や無料配布場所の提供などの協力が基本にあり、市民の方々の「コミ」によるPR抜きには考えられないことです。

小誌の財政事情をご理解され、今後ともご愛読のほどをお願い申し上げます。

1993年11月吉日

読者のみなさまへ

（財）川崎市生涯学習振興事業団「Stage Up」編集チーム

ミニニュース

身内のように思えた取材先の「ひと声」

「はりきつてます グループ紹介」の「木彫同好会『楓』」を取材した小誌スタツフの熊野、山本が、うれしそうに帰ってきた。

「楓」の会員に、入会の動機を取材した際、ある女性が「Stage Up」の新春号の会員募集欄を見て、会員になつたのですよ」と、親しみ

を込めて話した。その隣に座っていた人も「あら、私もそうなのよ」と、にっこり。スタツフは反射的に「ありがとうございませう」。

「楓」の前川代表によると、会員募集の記事を掲載したのは小誌だけで、この日出席した会員8人のうちの2人が小誌を読んで会員になつたとのこと。熊野と山本は「まるで身内のように思えた」とか。

こうしたお話は、市民の方々に役に立つ情報を多くの方に」と、頭をひねっている小誌スタツフには、なよりの「活力剤」？。

環境芸術のまちづくり テーマにシンポジウム

川崎新都心の新百合ヶ丘駅周辺の「芸術のまち構想」のイメージと実現を促進するための「国際環境芸術シンポジウム」(川崎市など主催、当事業団など共催)が10月29日、新百合ヶ丘エントランスホールであった。

版画家で小説家の池田満寿夫さんが「まちづくりと環境芸術」と題し基調講演。この後、パネル討論に移り、アメリカの環境造形家、ガレイ・リーベシエルさん▽サウンドスケープ研究者、鳥越けい子さん▽キネ

秋山さんの新鮮な発想に感動

「11月号『いまを話す』」の世界的彫刻家、秋山(礼巳)さんの発想が新鮮で、読み応えがあつたよ。ああいう方に『芸術のまち』づくりのお知恵を拝借したいね。インタビューア―の海野君もすごい男だね。「だれでもシンポジウム」や「多麻文化賞」のトップを務める藤田親昌さん(麻生区在住)が、こう話した。ホンネだけに値打ちがある。

週刊誌並の素早い掲載

文化人実業家の渡辺達夫さんは、小誌10月号の「特集 かわさき市民アカデミー」の劇作家、山田太一さんの講演要旨を読み、「記事がリアルで良かったが、それ以上に週刊誌並の早い掲載に驚いた。1カ月遅れでは、気の抜けたビールなもの」と小誌スタツフをねぎらつた。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル
電話 (044) 952-1500 FAX (044) 952-1350
編集人 田 中 園

同事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の一の三 教育文化会館一階
電話 (044) 133-1625

編集後記

落ち葉が舞い散り、今年も押し詰まっています。今年も告げていきます。▼1年間を振り返ってみますと、自民党長期政権が崩れ、細川連立政権が誕生▼川崎市政も22年間続いた社共両党の「革新市政」に終止符が打たれ、共産を除く6党派が与党に▼政治とは本来、国民・市民の健康と暮らしに直結したものです。投票率が低い「しらせ選挙」の原因はなんなのでしょう▼ところで、川崎の生涯学習は飛躍的に前進しました▼「かわさき市民アカデミー」がスタートし、市民のニーズにあった専門的な学習・研究が出来るようになりました▼高橋清市長(同アカデミー学長)は、これを市政の重要施策とし、近い将来「市民大学」に発展させるとしています▼この飛躍は、市民館で多くの市民が学び、交流してきた「川崎らしさの結果」です▼したがって、今後、公共施設での学習内容を高め、豊富にし、学習機会も増やすことと、アカデミーの発展とは矛盾しません▼小誌は、表紙絵のグレイドを高め、アカデミー特集を2回行い「グループ紹介」のワイド化を試みました▼読者の方々からのご意見、ありがとうございました。

今年も 科学館がおもしろい!

- やさしい先端技術講座・わくわく実験教室
楽しい工作教室・ワープロ教室など
好評実施中!

- 友の会制度発足
只今会員募集中!

最先端

ロボット・
ハイビジョンなど勢揃い!

- 開館 午前9時～午後5時(入館無料)
- 休館日 土・日曜日・祝祭日
(ただし、第2土曜日及び夏・冬・春休み中の土曜日は開館致します)
- 駐車場・軽食堂あり



館内はコンパニオンがご案内します。
英語での案内もできます。

東芝科学館

〒210 川崎市幸区小向東芝町1番地 ☎川崎[044]549-2200



元気倶楽部

◆お湯も使えて便利です
株式会社 タイキ ジャパン

価格 230,000円
(消費税、工事費別)

水を選ぶ人の 整水器はこれ!

- このアルカリイオン整水器は優れた性能で信頼を集めています。

- ☆健康にいい
アルカリイオン水
- ☆美容にいい
アストリンゼン水

- ◇自動洗浄機能
- ◇電解レベルスイッチ
- ◇カートリッジ交換
ウォーニング機能

ライフステージを豊かにする整水器をお手元にどうぞ



minesoft ミネソフト

AKAI 赤井電気株式会社

価格 198,000円
(消費税、工事費別)

いまなら2週間
無料貸し出し中

お気軽に無料カタログをご請求ください
☎ 044-954-4154 株ヒューマンテックコーポレーション
商品のご注文も電話で 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306